

水の文化17号予告

特集「雨模様」(仮)

雨は天の恵みと言われます

雨に人々はどのような思いを込めてきたのか

雨はどのように表現されてきたのか

雨を何に使ってきたのか、等々

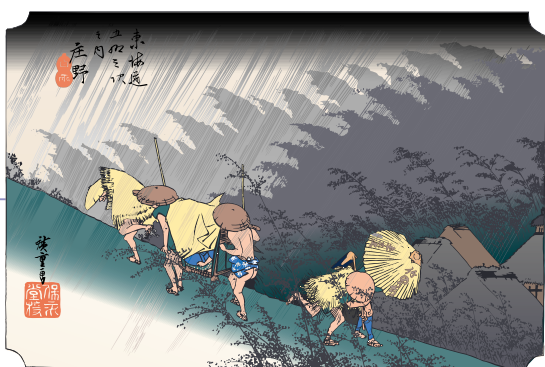
雨水の利用と技術を論じるには

それを生かす社会と文化にまで

思いを馳せたいものです

様々な暮らしの雨模様から、どのような

「雨の文化」が見えてくるのでしょうか



水の文化 Information

『水の文化』に関する情報をお寄せ下さい

本誌『水の文化』では、今後も引き続き「人と水との関わり」に焦点を当てた活動や調査・研究などをご紹介します。

ユニークな水の文化楽習活動を行っている、「水の文化」にかかわる地域に根差した調査や研究を行っている、こうした情報がありましたら、自薦・他薦を問いませんので、事務局まで情報をお寄せください。

水の文化人ネットワーク連載開始

当センターホームページでは、2月より新コーナーを開設します。名付けて「水の文化人ネットワーク」。今こそ話を聞きたい、水と独自のつきあいをしている方を訪ね、なかなか活字にならない「知と生活の世界」を思う存分語ってもらいます。2月より順次、次の方々のアップロードを予定しています。

- ・安室 知 国立歴史民俗博物館助教授
- ・鈴木 理生 都市史研究家
- ・山口 昌伴 GK道具学研究所長・道具学会事務局長
- ・佐藤 仁 東京大学大学院新領域創成科学研究科助教授

水の文化 バックナンバーをホームページで

本誌はモノクロで皆様に配布しておりますが、写真をはっきり見たい!というご要望にお応えし、11号からはホームページにてカラーでバックナンバーを提供しています。すべてダウンロードできますので、いろいろな活動にご活用ください。

ホームページアドレス <http://www.mizu.gr.jp/>

編集後記

「お茶」のテーマを取り上げる事となり、私たちにとって身近な話題であるだけに、どのように面白さを演出するかに知恵を絞りました。「茶道」の世界に踏み込めば、その道の達人が数多くいらっしゃいます。そしてそれぞれに「一言」を持っておられます。これはとても大刀打ちできません。ここは、茶化す訳ではないですが、「お茶の間力(魔力)」に頼った次第です。結果はご覧の通りですが、読者の皆さんの茶飲み種(くさ)にしていたければ幸いです。(吉)

子どもの頃、盆や正月に親戚の家に行くと、必ず出されるのが抹茶とお饅頭。苦いながらも饅頭欲しさに渋々抹茶を飲んでいたことを思い出します。私の田舎では、人が集まれば日常的に抹茶がもてなしの一事として登場。大人も子どもも分け隔てなく、作法をあまり気にしなくてもよかつたのがありがたい。(日)

フランスの思想家と聞いただけで、どんなに気難しい方なのだろうか、来日されるまでは少々臆病になっていましたが、いざお会いしてみるとアラン・コルバン氏は非常に気さくな、優しくお洒落な方でした。成田から本社のある半田までの移動中、富士山を新幹線の車窓から眺める姿が非常に印象的でした。静岡の茶畑にコルバン氏は気づいたのでしょうか?(ゆ)

お茶コミュニケーションから出発したら、家庭と社交の意外な関係に足を踏み込んでしまった。「もてなしズム」は、豊かな暮らしに欠かせない。でも、個人と公の間で揺れ動く「暮らし」の意味を問われると、家庭をもつ現代の1中年男性としてはたいへんに悩むところである。疑問が疑問を呼ぶ茶。闘茶ならぬ「問う茶」である。これも茶のみ話ということか(中)

我が家にあるお茶を数え上げたら、出るわ出るわ。日本茶は、焙じ茶、煎茶、抹茶、紅茶はアールグレイ、ダイジリン、セイロン、中国茶は岩茶、安溪鉄観音、瑠璃春、ハーブティーはジャスミン、カモミール、ミント、朝鮮人参、さくら。その他に麦茶、コーヒー、ココアも加わって、客人の顔を見てその日のメニューを決めるのだ。その選択が果たして当たりか、否か。もてなしの達人への道は険しく、楽しい。(賀)

ミツカン水の文化センター機関誌

水の文化

第16号

ホームページアドレス
<http://www.mizu.gr.jp/>

禁無断転載複写

発行日 2004年(平成16年)2月

企画協力 嘉田由紀子 京都精華大学教授 琵琶湖博物館研究顧問 水と文化研究会世話役
古賀邦雄 水・河川・湖沼関係文献研究会
陣内秀信 法政大学教授

編集 吉田 稔 小林 信 日比野容久 小林夕夏 中庭光彦 賀川一枝 賀川督明

発行 ミツカン水の文化センター

〒475-8585 愛知県半田市中村町2-6
株式会社ミツカングループ本社 広報室内
Tel. 0569(24)5087 Fax. 0569(24)6353

ミツカン水の文化センター 東京事務局
〒143-0016 東京都大田区大森北2-2-10・4F
Tel. 03(5762)0244 Fax. 03(5762)0246

お問い合わせ